

注3 **大学番号：国063**

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

島根大学 人間科学部

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部 企画広報情報課

職名・氏名 係長 ヨシオカ 吉岡 セイジ 誠治

電話番号 0852-32-6605

（夜間） 0852-32-6605

F A X 0852-32-6630

e-mail gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間科学部

<人間科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハットリ ヤスナオ) 服部 泰直 (平成27年4月)		
理事	(フジタ タツロウ) 藤田 達朗 (平成27年4月)		
理事	(アキシゲ ユキクニ) 秋重 幸邦 (平成27年4月)		
理事	(アラセ サカエ) 荒瀬 榮 (平成27年4月)		
理事	(イガワ ミキオ) 井川 幹夫 (平成27年4月)		
理事	(マツウラ アキユキ) 松浦 晃幸 (平成27年4月)		
理事	(エグチ ヒロハル) 江口 博晴 (平成27年4月)		
学部長	(ムラセ トシキ) 村瀬 俊樹 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 人間科学科 学士(人間科学)	学際領域	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]								1.02倍	
志願者数	1,123人 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	605 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	95 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	82 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	82 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
4年次	/		/		/		[] [] ()	[] [] ()	
計	82 [-] (-)		[] [] ()		[] [] ()		[] [] ()		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	82 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	82 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間科学部 人間科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通教育科目	外国語(英語)	英語ⅠA	1前	1								兼7	教育内容の充実のため(29)	
		英語ⅠB	1後	1								兼6		
		英語ⅡA	1後	1								兼7		
		英語ⅡB	2前	1								兼7		
		英語ⅢA	1・2・3・4前		1							兼1		
		英語ⅢB	1・2・3・4後		1							兼1		
		英語Ⅳ	1・2・3・4前後		1							兼2		
	外国語(初修外国語)	ドイツ語Ⅰ ※	1前		2							兼3	教育内容の充実のため(29)	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼3		
		フランス語Ⅰ ※	1前		2							兼1		
		フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼1		
		中国語Ⅰ ※	1前		2							兼4		
		中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼4		
		韓国・朝鮮語Ⅰ ※	1前		2							兼3		
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼3			
	(注) ※印から必修科目として1科目を選択													
	健康・スポーツ/文化・芸術	健康スポーツ ※	1前		2							兼1		
		スポーツ実習	1・2・3・4前後		1							兼1		
		健康・スポーツ科学概論	1・2・3・4後		2							兼1		
		芸術文化Ⅰ(音楽) ※	1・2前後		2							兼1		
		芸術文化Ⅰ(美術) ※	1・2・3前後		2							兼1		
	芸術文化Ⅰ(島根の祭りと芸能) ※	1後		2							兼1			
	(注) ※印から必修科目として1科目を選択													
	情報科学	1前		2			1					兼1		
	入門科目(人文社会科学分野)	論理学	1・2・3・4前		2								兼1	教育内容の充実のため(29)
		自己と世界	1・2・3・4後		2							兼1		
		心の世界	1・2・3・4前		2		2							
		心の不思議	1・2・3・4前		2			1						
		日本人の宗教と死生観	1・2・3・4前		2		1							
異文化との出会い		1・2・3・4後		2								兼1		
東アジアの歴史と文化		1・2・3・4前		2								兼1		
ユーラシアの歴史と民族		1・2・3・4前		2								兼1		
人類史と考古学		1・2・3・4後		2								兼1		
小説の構造		1・2・3・4前		2								兼1		
未開講													担当教員の都合のため(29)	
日本語のしくみ		1・2・3・4前		2								兼1		
王朝の文学		1・2・3・4前		2								兼1		
未開講													担当教員の都合のため(29)	
生成文法入門		1・2・3・4後		2								兼1		
日常生活と犯罪学		1・2・3・4前		2								兼1		
未開講													担当教員の都合のため(29)	
教養としての政治		1・2・3・4前		2								兼1		
日本経済を見る眼		1・2・3・4後		2								兼1		
世界経済を見る眼		1・2・3・4前		2								兼1		
データで見る経済		1・2・3・4前		2								兼1		
現代経済へのアプローチ		1・2・3・4後		2								兼1		
国際農村開発概論	1・2・3・4後		2								兼1			
教育内容の充実のため(29)														
地図の歴史	1・2・3・4前		2								兼1			
基礎社会学Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼1			
未開講												担当教員の都合のため(29)		
知ることと生きること	1・2・3・4後		2								兼1			
心の形成	1・2・3・4前		2					1			兼1			
現代芸術の世界	1・2・3・4前		2								兼1			

全学 共通 教育 科目	教養 育 成 科 目	入門 科 目 (人 文 社 会 科 学 分 野)	現代芸術の思想	1・2・3・4後	2					兼1		
			歴史と文芸	1・2・3・4前	2					兼1		
			東アジアのこぼと文学	1・2・3・4前	2					兼1		
			古代出雲の考古学	1・2・3・4前	2					兼1		
			山陰の歴史-古代・中世-	1・2・3・4前	2					兼1		
			山陰の歴史-近世・近現代-	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			考古学からみた古代山陰の世界	1・2・3・4後	2					兼1		
			企業と法	1・2・3・4前	2					兼1		
			消費生活と家族の法	1・2・3・4後	2					兼1		
			現代社会と法・人権	1・2・3・4後	2					兼1		
			情報化社会と経済	1・2・3・4前	2					兼1		
			国際化のなかの地域経済	1・2・3・4後	2					兼1		
			魚と日本人	1・2・3・4前	2					兼1		
			基礎社会学Ⅱ	1・2・3・4前	2					兼1		
			地域開発と環境	1・2・3・4前	2					兼1		
			フランスの社会と文化	1・2・3・4前	2					兼1		
			世界の都市景観	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			考古学からみた韓半島の先史・古代文化	1・2・3・4前	2					兼1		
			山と日本人	1前	2					兼1		
			山陰のこぼ	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			大学教育論 -島根大学と社会-	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
		入門 科 目 (自 然 科 学 分 野)	初級微積分学Ⅰ	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			初級線形代数学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
			実用微積分学ⅠB	1・2・3・4前	2						兼1	
			実用微積分学ⅡB	1・2・3・4後	2						兼1	教育内容の充実のため(29)
			実用線形代数学ⅠB	1・2・3・4前	2						兼1	
			実用線形代数学ⅡB	1・2・3・4後	2						兼1	
			実験データ解析入門	1・2・3・4後	2						兼1	教育内容の充実のため(29)
			熱と分子の物理学	1・2・3・4前	2						兼1	
			電気と磁気の物理学	1・2・3・4前	2						兼1	
			物理のための数学入門	1・2・3・4前	2						兼1	
			反応の化学	1・2・3・4後	2						兼1	
			環境の化学	1・2・3・4前	2						兼1	教育内容の充実のため(29)
			身のまわりの触媒	1・2・3・4前	2						兼1	
			高分子の化学	1・2・3・4前	2						兼1	
			プレートテクトニクス	1・2・3・4後	2						兼1	
			地球と人間生活	1・2・3・4前	2						兼1	
			計測のはなし	1・2・3・4後	2						兼1	
			通信と情報	1・2・3・4後	2						兼1	
			木材の科学	1・2・3・4前	2						兼1	
				未開講								担当教員の都合のため(29)
				住まいの科学	1・2・3・4後	2					兼1	
				エレクトロニクスのはなし	1・2・3・4前	2					兼1	
				動物の世界	1・2・3後	2					兼1	
				植物の世界	1・2・3・4前	2					兼1	
				動物の行動	1・2・3・4前	2					兼1	
				物質と生命	1・2・3・4前	2					兼1	
				数の世界	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)
				日常生活の中の数学	1・2・3・4後	2					兼1	
				ヒトと栄養と生命	1・2・3・4後	2					兼1	
				生体分子の世界	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)
			生命情報の科学	1・2・3・4前	2					兼1		
			細胞生物学	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			地域開発と水環境	1・2・3・4前	2					兼1		
			光環境と生物	1・2・3・4後	2					兼1		
			生物多様性と環境保全	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			機械の歴史	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			電気・通信技術の歩み	1・2・3・4後	2					兼1		
			生態学入門	1・2・3・4前	2					兼1		
	(学 際 分 野)	入門 科 目	スタートアップセミナー	1前	2					兼1		
					廃止							キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
					先輩に学ぶ島根大学のこころと形	1・2・3・4前	2				兼1	
					グローバル・イシュー：国際社会が抱える課題と対応	1・2・3・4後	2				兼1	教育内容の充実のため(29)
			グローバル・チャレンジ：海外留学・インターン・ボランティアへの道筋	1・2・3・4前	2				兼1	教育内容の充実のため(29)		

全学 共通 教育 科目	教養 育 成 科 目	発 展 科 目 (人 文 社 会 科 学 分 野)	芸術学セミナー	1・2・3・4前	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			美術セミナー I	1・2・3・4前	2	兼 1		
			歴史のなかの日本とアジア	1・2・3・4後	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			日本語の表現	1・2・3・4後	2	兼 1		
				未開講				担当教員の退職のため(29)
			日本人の意識構造	1・2・3・4後	2	兼 1		
			アメリカ短篇小説を読む	1・2・3・4前	2	兼 1		
				未開講				担当教員の都合のため(29)
			ヨーロッパの言語文化 II	1・2・3・4後	2	兼 1		
			中国文学における風土と人間	1・2・3・4後	2	兼 1		
			生涯発達の心理学	1・2・3・4前	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			英語アカデミックスキルA	1・2・3・4前	2	兼 1		
			英語アカデミックスキルB	1・2・3・4後	2	兼 1		
			英語アカデミックスキルC	1・2・3・4前	2	兼 1		
			英語アカデミックスキルD	1・2・3・4後	2	兼 1		
			英語アカデミックスキルE	1・2・3・4前	2	兼 1		
			英語アカデミックスキルF	1・2・3・4後	2	兼 1		
			国際文化情報A (英語圏)	1・2・3・4前	2	兼 1		
			国際文化情報B (英語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1		
			グローバルビジネスコミュニケーションA	1・2・3・4前	2	兼 1		
			グローバルビジネスコミュニケーションB	1・2・3・4後	2	兼 1		
			海外留学セミナーA	1・2・3・4前	2	兼 1		
			海外留学セミナーB	1・2・3・4後	2	兼 1		
			上級TOEFLセミナーA	1・2・3・4前	2	兼 1		
			上級TOEFLセミナーB	1・2・3・4後	2	兼 1		
			中級英会話A	1・2・3・4前	2	兼 1		
			中級英会話B	1・2・3・4後	2	兼 1		
			異文化コミュニケーション入門A	1・2・3・4前	2	兼 1		
			異文化コミュニケーション入門B	1・2・3・4後	2	兼 1		
			グローバルリテラシーセミナー I	1・2・3・4前	2	兼 1		
			グローバルリテラシーセミナー II	1・2・3・4後	2	兼 1		
			上級TOEICセミナー I	1・2・3・4前	2	兼 1		
			上級TOEICセミナー II	1・2・3・4後	2	兼 1		
			初級英会話A	1・2・3・4前	2	兼 1		
			初級英会話B	1・2・3・4後	2	兼 1		
			グローバルアンダースタンディング	1・2・3・4後	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			アカデミックリスニングA	1・2・3・4前	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			アカデミックリスニングB	1・2・3・4後	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			クロスカルチュラルアンダースタンディング	1・2・3・4前	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			グローバルインタラクション	1・2・3・4前	2	兼 1	教育内容の充実のため(29)	
			国際文化情報A (ドイツ語圏)	1・2・3・4前	2	兼 1		
国際文化情報B (ドイツ語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1					
国際文化情報A (フランス語圏)	1・2・3・4前	2	兼 1					
国際文化情報B (フランス語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1					
国際文化情報A (中国語圏)	1・2・3・4前	2	兼 1	誤記のため訂正(29)				
国際文化情報B (中国語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1	誤記のため訂正(29)				
国際文化情報(中国語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1	誤記のため訂正(29)				
中級中国語会話	1・2・3・4前	2	兼 1					
中国語音声セミナー	1・2・3・4前	2	兼 1					
中国留学セミナー	1・2・3・4前	2	兼 1					
中国語検定セミナー	1・2・3・4後	2	兼 1					
中級中国語表現法	1・2・3・4後	2	兼 1					
現代中国語セミナーA	1・2・3・4前	2	兼 1					
現代中国語セミナーB	1・2・3・4後	2	兼 1					
中国語スキルアップセミナーA	1・2・3・4前	2	兼 1					
中国語スキルアップセミナーB	1・2・3・4後	2	兼 1					
国際文化情報A (韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4前	2	兼 1					
国際文化情報B (韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4後	2	兼 1					
英語海外研修A	1・2・3・4前	2	兼 1					
英語海外研修B	1・2・3・4後	2	兼 1					
英語海外研修C	1・2・3・4前	2	兼 1					
	廃止				新たに「グローバル課題解決型研修」を開講するため(29)			
英語海外研修D	1・2・3・4後	2	兼 1					
英語海外研修E	1・2・3・4前	2	兼 1					
英語海外研修F	1・2・3・4前	2	兼 1					
英語海外研修G	1・2・3・4前	2	兼 1					
英語海外研修H	1・2・3・4後	2	兼 1					

全学共通教育科目	教養育成科目	発展科目 (人文社会科学分野)	異文化理解入門	1・2・3・4後 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)	
			留学のための英語による教養基礎(理系文系別)	1・2・3・4後	2					兼1		
			ビジネス英語海外研修	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			大学で学ぶ世界史	1・2・3・4後 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)	
			アカデミック・ライティング	1・2前 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)	
			人間と教育	3・4前 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)	
			むら興し・まち興し	3・4後 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)	
			中国語海外研修A	1・2・3・4前	2					兼1		
			中国語海外研修C	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			中国の歴史と文化	1・2・3・4前	2					兼1		
			韓国の文化と風土	1・2・3・4前	2					兼1		
			現代中国を読むⅠ	1・2・3・4後	2					兼1		
			現代中国を読むⅡ	1・2・3・4前	2					兼1		
			漢文史料を読む	1・2・3・4後	2					兼1		
			都市地理学	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			平和学	1・2・3・4後	2					兼1		
			働く人の法知識	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			市民生活と法	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			株式会社の経営と法	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			知的財産から見た法の世界	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			医療から見た法の世界	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)	
			廃止								キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)	
			現代社会とキャリア	1・2・3・4後	2					兼1		
			発展科目 (自然科学分野)	力と運動の物理学	1・2・3・4前	2					兼1	
				波と振動の物理学	1・2・3・4後	2					兼1	
				物理学入門セミナー	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)
				エレクトロニクスセミナー	1・2・3・4前	2					兼1	
				物理学の世界	1・2・3・4後	2					兼1	
				遺伝子を考える	1・2・3・4後	2					兼1	
				山陰の自然史	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)
自然環境の復元	1・2・3・4後	2						兼1				
自然と語ろう	1・2・3・4前	2						兼1				
データ解析の数理	3・4前	2						兼1				
物性科学のフロンティア	2・3・4後	2						兼1	教育内容の充実のため(29)			
たたらと現代製鋼	3・4通年	2						兼1				
生命現象	3・4前	2						兼1	教育内容の充実のため(29)			
生命科学の世界	3・4前	2						兼1				
汽水域の科学(入門編)	1・2・3・4前	2						兼1	教育内容の充実のため(29)			
発展科目 (学際分野)	情報と地域ーオープンソースと地域振興	2・3・4後 未開講	2					兼1	担当教員の都合のため(29)			
	Rubyプログラミング	3・4前	2					兼1				
	開発フレームワーク	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)			
	山陰地域の自然災害	1・2・3・4前	2					兼1				
	自然環境論	1・2・3・4後	2					兼1				
	くらしの中の製作技術	1・2・3・4前後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)			
	長寿社会の健康なくらし	1・2・3・4後 後	2					兼1	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)			
	人と職業	2・3・4前 廃止	2					兼1	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)			
	キャリアデザイン	2・3・4後	2					兼1				
	中山間地域フィールド演習	2・3・4通年 廃止	3					兼1	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)			
発展科目 (学際分野)	実例中小企業経営論	1・2・3・4後	2					兼1				
	酒一杯の酒から覗く学問の世界	1・3・4後 前	2					兼1	教育効果向上のため(29)			
	死と人間	3・4後	2					兼1				
	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	1・2・3・4前 廃止	2					兼1	担当する学科等の教員組織見直しのため(29)			
	山陰の地域に根ざしたエネルギー環境教育	2・3・4後	2					兼1				

全学共通教育科目	教養育成科目	発展科目 (学際分野)	生活と健康	3・4前	2					兼1	より専門性の高い授業内容に変更するため(29)		
			技術と社会	3・4後	2					兼1			
			島大ミュージアム学	1後	2					兼1			
			地域づくり-地域教育力の再生-	1・2後	2					兼1			
			地域づくりII-地域教育力と地域活動の実際-	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
			島根学	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
			環境問題通論	1・2・3・4前	2					兼1			
			環境教育フィールド科学	1・2・3・4前	2					兼1			
			教育研究のための統計法	1・2・3・4前	2					兼1			
			学習の科学	1・2・3・4後	2					兼1			
			ジオパーク学入門	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
			ジオパーク学各論	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
			ジオパーク学演習	2・3・4前	2					兼1			
				廃止								キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)	
			ビジネスマネジメント	2→3→4前	2					兼1			
			mrubyプログラミング	2・3・4後	2					兼1			
			データ解析のための統計法	1・2・3・4後	2					兼1			
			ワークショップスキル入門	1・2・3・4後	2					兼1			
		ものづくりと創造性	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)			
		教育から地域を魅せる	2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)			
		グローバル課題解決型研修	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)			
		社会 人 力 養 成 科 目	日本国憲法	1・2・3・4前	2					兼1	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)		
				前後									
			大学生の就職とキャリア	1・2・3後	2					兼1			
			ジェンダー - 性を科学する -	1・2・3・4後	2					兼1			
			地域社会の生活と安全	1・2・3・4前	2					兼1			
			ジャーナリズムと地域社会	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
			島根の企業と経済	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
				廃止								担当する学科等の教員組織見直しのため(29)	
			出雲杜氏の古里再発見	1→2→3→4前	2					兼1			
				廃止								担当する学科等の教員組織見直しのため(29)	
			コミュニティの学びを支えるもの	1→2→3→4後	2					兼1			
				廃止								担当する学科等の教員組織見直しのため(29)	
			農と食と経済	1→2→3→4前	2					兼1			
			ボランティアと障がい者支援	1・2前	2					兼1			
			障がい者支援の実際	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)		
地域未来論	1・2・3・4後		2					兼1	教育内容の充実のため(29)				
地域課題解決プロジェクト	2・3・4後		2					兼1	教育内容の充実のため(29)				
地域共創インターンシップA	2・3・4前		2					兼1	教育内容の充実のため(29)				
地域共創インターンシップB	2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
地域社会と法Ⅰ：知識編	1・2・3・4前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
地域社会と法Ⅱ：実践編	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
囲碁で学ぶ考える力	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
実例ビジネス開発論 -社会構造の変化に対応する新しい価値の共創-	1・2・3・4後	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
キャリアデザイン	1・2・3・4前後	2					兼1	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)					
ビジネススキル入門	1・2前	2					兼1	教育内容の充実のため(29)					
専門教育	学部共通	地域実践基盤	人間科学入門セミナー	1前	2		8 7	10	3	4	教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可		
			人間科学地域実践入門	1後	1		7 6	10	3	3	教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可		
			インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ	2後	1		8 7	10	3	3	教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可		

専門教育	地域実践基盤	インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ	3後	1			7 6	10	3	3		教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
		インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ	4後	1			7 6	10	3	3			教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
	学部共通	共通基盤	人間科学概論	1前	2			8 7	10	3	3		兼 1 教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
			人間科学研究法	2前		2		1					
			心理学概論	1後		2		1					
			臨床心理学概論	2前		2		1					
			社会福祉原論Ⅰ	1前		2		1					
	社会福祉原論Ⅱ	1後		2		1							
	健康科学概論	1前		2		1	1						
	地域社会	地域包括ケア概論	1後	2				1					兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1
		社会学概論	1後		2								
		コミュニティ心理学	3前		2								
		地域福祉論Ⅰ	2前		2			1					
		地域文化論	3後		2		1						
		行政学	2前		2								
		NPO論	2後		2								
		中山間地域論	3前		2								
		地域産業論	3後		2								
	人間理解	生命倫理概論	1後		2		1						兼 1 兼 1 兼 1 兼 3 兼 3 兼 1 兼 1 カリキュラムの具体的な編成過程で変更の必要が生じたため(29)
		文化人類学	2前		2								
芸術学		2後		2									
比較宗教学		2前		2		1							
人間と法		前 1後		2									
人間と工学		2後		2		1							
医学概論		2前		2			1						
生命科学の歴史と倫理		2前		2									
看護学原論		2前		2									
遺伝医学		2後		2		1							
心理学コース専門	心理学基礎	心理学研究法Ⅰ	2後		2			1	1				
		心理学研究法Ⅱ	2後		2			1					
		心理統計学Ⅰ	2前	2			1			1			
		心理統計学Ⅱ	3前		2					1			
		心理学実験演習Ⅰ	1後	2						1	1		
		心理学実験演習Ⅱ	2前		2				1				
		グループアプローチ概論	2前	2					2				
	臨床心理学	人格心理学概論	1後		2					1		兼 3 兼 3 兼 3 兼 2 兼 3	
		生涯発達心理学概論	1後		2				1				
		発達臨床心理学概論	2前		2					1			
		思春期・青年期心理学概論	2後		2		1						
		児童生徒人間関係論	2前		2								
		人間関係論	2後		2				1				
		不登校の心理臨床	3後		2								
		子育て支援の心理臨床	3後		2								
		心理検査実習	2後		2				2	1			
		心理面接実習Ⅰ	3前		1				1				
心理面接実習Ⅱ	3後		1					1					
心理療法論	3後		2				1						
芸術療法論	3前		2										
臨床心理事例研究	3前		2		1	4	1						
臨床心理文献講読	3後		2		1	3	1						
臨床心理学研究Ⅰ	3前		2		1	4	1						
臨床心理学研究Ⅱ	3後		2		1	4	1						

心理学コース専門	実験心理学	知覚心理学	2後		2			1															
		認知心理学	1後		2			1															
		学習心理学	2後		2		1																
		家族心理学	2後		2					1													
		認知発達心理学	2後		2		1																
		社会心理学	2後		2		1						1										
		行動変容論	2前		2		1						1										
		家族心理学基礎研究	2前		2								1										
		認知心理学研究	3後		2					1													
		学習心理学研究	3後		2		1																
		発達心理学研究	3後		2		1																
		社会心理学研究	3後		2									1									
		家族心理学研究	3後		2								1										
		実験心理学研究Ⅰ	3前		2					1													
		実験心理学研究Ⅱ	3前		2																		
心理学演習	4通	4					2	5	2	1													
地域実践展開	風土心理研究	3前		2				1															
	心理臨床・実践職能論	3前		2			1	4	1												兼 3		
	地域臨床実践実習Ⅰ	2後		1			2	4	2												兼 3		
	地域臨床実践実習Ⅱ	3後		1			1	4	1												兼 3		
	地域臨床実践実習Ⅲ	4前		1			1	4	1												兼 3		
	地域臨床実践研究Ⅰ	3後		2			1	4	1												兼 3		
	地域臨床実践研究Ⅱ	4前		2			1	4	1												兼 3		
	応用心理学研究Ⅰ	3前		2					1													兼 3	
	応用心理学研究Ⅱ	4前		2			1															兼 3	
	インターンシップ(就業体験)	3通		1			2	5	2	1												兼 3	
専門教育	福祉社会コース専門	公的扶助論	2前		2																	兼 1	
		社会調査	2前	2																			兼 1
		地域福祉論Ⅱ	2後		2				1														兼 1
		高齢者福祉論	1後		2			1															兼 1
		障害者福祉論	2前		2				1														兼 1
		児童福祉論	2前		2																		兼 1
		社会保障論Ⅰ	3前		2																		兼 1
		社会保障論Ⅱ	3後		2																		兼 1
		介護概論	1前		2																		兼 1
		福祉行財政・福祉計画論	4前		2																		兼 1
		社会福祉運営管理論	2後		2			1															兼 1
		福祉社会文化論	保健医療サービス論	2後		2			1														
	就労支援と更生保護		3前		2																		兼 1
	権利擁護と成年後見		3後		2																		兼 1
	精神医学Ⅰ		2前	2					1														兼 1
	精神医学Ⅱ		2後		2				1														兼 1
	精神保健学Ⅰ		3前		2				1														兼 1
	精神保健学Ⅱ		3後		2				1				1										兼 1
	精神保健福祉制度論Ⅰ		2前		2								1										兼 1
	精神保健福祉制度論Ⅱ		2後		2								1										兼 1
	精神保健福祉論		3前		2								1										兼 1
	東アジア福祉社会論		4前		2									1									兼 1
	福祉社会理論研究	2後		2			2		1													兼 1	
専門演習	3通	4				3	2	3		2											兼 1		
福祉社会文化論	福祉人間論	2後	2				1															兼 1	
	福祉人間論研究	4前		2			1															兼 1	
	福祉経済論Ⅰ	3前		2																		兼 1	
	福祉経済論Ⅱ	3後		2																		兼 1	

専門教育	福祉社会文化論	福祉人類学Ⅰ	2前		2						兼2	
		福祉人類学Ⅱ	2後		2						兼2	
		共生社会史	2前		2						兼1	
		文化共生論	2後		2						兼1	
		現代社会論	3前		2						兼1	
		社会福祉援助技術論Ⅱ	2後		2		2				兼1	
	福祉社会臨床	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前	2			1					教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
		ソーシャルワーク論Ⅱ	2後		2			1				
		ソーシャルワーク論Ⅲ	2後		2		1					教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
		ソーシャルワーク論Ⅳ	3前		2			1				
		社会福祉援助技術演習Ⅱ	3前		2							兼1
		社会福祉援助技術演習Ⅲ	3後		2				1			
		社会福祉援助技術演習Ⅳ	4前		2		1					教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
		社会福祉援助技術演習Ⅴ	4後		2					1		
		精神科ソーシャルワーク論	2後	2								兼3
		精神科リハビリテーション学Ⅰ	3前		2			1				
		精神科リハビリテーション学Ⅱ	3後		2				1		1	
		精神科リハビリテーション学Ⅲ	3後		2						1	
		精神科リハビリテーション学Ⅳ	4前		2						1	
		精神保健福祉援助技術演習Ⅰ	4前		2						1	
精神保健福祉援助技術演習Ⅱ	4後		2						1			
スクールソーシャルワーク論	4前		2						1			
地域実践展開	地域連携論	3後		2		1					教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
	社会福祉援助技術論Ⅰ	2前		2		1						
	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2後	2			1					教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
	社会福祉実習指導Ⅰ	3通		1		3	2	2				
	社会福祉実習指導Ⅱ	4通		1		3	2	2			教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
	社会福祉実習指導Ⅲ	3通		2		3	2	2				
	社会福祉実習Ⅰ	3通		2		3	2	2			教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
	社会福祉実習Ⅱ	4通		2		3	2	2				

専門教育	福祉社会コース専門	地域実践展開	社会福祉実習Ⅲ	3通		4		3 2	2				教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可	
			精神保健福祉実習指導	4通		2			1		2			
			精神保健福祉実習	4通		4			1		2			
			インターンシップ(就業体験)	3通		1		3 2	3		2			教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可
	身体活動・健康科学コース専門	健康身体科学	解剖学Ⅰ	1後		2		1					兼1	
			解剖学Ⅱ	2前		2		1						
			バイオメカニクス	2前		2					1			
			バイオメカニクス演習	2後		2					1			
			バイオメカニクス実験	3後		1					1			
			生理学	1後		2		1						
運動生理学			1後	2					1					
応用運動生理学			2後		2				1					
運動生理学実験			3後		1				1					
発育発達学			2前		2									
老齢学			2後	2					1					
病理学			2前	2			1							
病態治療学			3前		2									
救急処置法			4前		2									
栄養学			2前		2									
スポーツ心理学			3前		2									
健康社会科学	健康社会科学	被服生理学	2後		2		1				兼1 兼1			
		健康衣料素材学	2前	2			1							
		スポーツウェア設計工学	3前		2		1							
		運動障害者衣料学	3後		2		1							
地域実践展開	地域実践展開	テニス・卓球・バドミントン	3前		1						兼1			
		スポーツ文化論	1後		2									
		スポーツ経営学	2前		2									
		スポーツマーケティング論	3前		2									
		次世代ヘルスケアビジネス論	4前		2		1							
		地域健康産業論	3前	2				1						
		環境保健学	2前		2			1						
		労働と健康	3前		2			1						
		レクリエーション論	3前		2				1					
		疫学・統計学	2後		2				1	1				
疫学・統計学演習	4後		2				1	1						
アドバンス	アドバンス	運動処方論	2前		2				1		教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可			
		運動処方実習	2後		1			1	1					
		スポーツ指導実習Ⅰ	2前		1			1	1					
		スポーツ指導実習Ⅱ	3前		1			1	1					
		社会スポーツ施設実習	3後		1		2	2	1					
		社会保健施設実習	2後		1		2	2	1					
		インターンシップ(就業体験)	3通		1		2	2	1					
リサーチ・インターンシップ	3通		2		7 6	10	3	4	教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可					
オーナード論文	4通		4		7 6	10	2	1		教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可				
海外研修	3通		2		7 6	10	3	3			教員審査で専任補充となったため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可			

専 門 教 育	他コース開講専門科目											
	卒業研究	4			7 6	10	2	1				教員審査で専任補充となった ため、教員を追加(29) 担当 西崎緑 平成29年2月 教員審査済 判定 可

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	356	0	389	33	404	0	437	
				[0]	[48]	[0]	[48]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本語のしくみ	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
2	生成文法入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
3	教養としての政治	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
4	知ることと生きること	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
5	住まいの科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
6	日本人の意識構造	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため(29)
7	ヨーロッパの言語文化Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
8	留学のための英語による教養基礎(理系文系別)	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
9	アカデミック・ライティング	2	1・2前	一般	選択	担当教員の都合のため(29)
10	中国語海外研修A	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の都合のため(29)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	先輩に学ぶ島根大学のこころと形	2	1・2・3・4前	一般	選択	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
2	英語海外研修D	2	1・2・3・4後	一般	選択	新たに「グローバル課題解決型研修」を開講するため(29)
3	現代社会とキャリア	2	1・2・3・4後	一般	選択	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
4	キャリアデザイン	2	2・3・4後	一般	選択	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
5	事例中小企業経営論	2	1・2・3・4後	一般	選択	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
6	山陰の地域に根ざしたエネルギー環境教育	2	2・3・4後	一般	選択	担当する学科等の教員組織見直しのため(29)
7	技術と社会	2	3・4後	一般	選択	より専門性の高い授業内容に変更するため(29)
8	ビジネスマネジメント	2	2・3・4前	一般	選択	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)
9	出雲杜氏の古里再発見	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当する学科等の教員組織見直しのため(29)
10	コミュニティの学びを支えるもの	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当する学科等の教員組織見直しのため(29)
11	農と食と経済	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当する学科等の教員組織見直しのため(29)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止された科目数以上の新規科目を開講している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{21}{389} = \boxed{5.39}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	261,438㎡	0㎡	0㎡	261,438㎡			
	運動場用地	90,630㎡	0㎡	0㎡	90,630㎡			
	小 計	352,068㎡	0㎡	0㎡	352,068㎡			
	そ の 他	6,126,623㎡	0㎡	0㎡	6,126,623㎡			
	合 計	6,478,691㎡	0㎡	0㎡	6,478,691㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		137,228㎡ (137,228㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	137,228㎡ (㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		71室	176室	438室	8室 (補助職員 4人)	3室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		人間科学部			27 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数 購入等による増加(29) 契約中止等による減少(29) 集計方法変更による増加(29)
	人間科学部	964,239 [223,351] 928,240 [220,225] 964,239 [223,351] 928,240 [220,225]	15,254 [4,680] 15,329 [4,690] 15,254 [4,680] 15,329 [4,690]	7,700 [6,000] 14,207 [12,588] 7,700 [6,000] 14,207 [12,588]	7,011 2,707 (7,011) (2,707)	30,355 (30,355)	19 (19)	
	計	964,239 [223,351] 928,240 [220,225] 964,239 [223,351] 928,240 [220,225]	15,254 [4,680] 15,329 [4,690] 15,254 [4,680] 15,329 [4,690]	7,700 [6,000] 14,207 [12,588] 7,700 [6,000] 14,207 [12,588]	7,011 2,707 (7,011) (2,707)	30,355 (30,355)	19 (19)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		9,058㎡		880	911,450			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		3,915㎡		野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 15 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	島根大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
法文学部	年	人	年次 人 3年次 10	人 20		倍			
法経学科	4	80		320	学 士 (法経)	1.06	平成16年度	島根県松江市西川津 町1060	平成29年より入学定 員変更
社会文化学科	4	50		200	学 士 (社会科学)	1.03	平成16年度	同上	平成29年より入学定 員変更
言語文化学科	4	55		220	学 士 (文学)	1.08	平成16年度	同上	平成29年より入学定 員変更
教育学部									
学校教育課程	4	130		520	学 士 (教育学)	1.02	平成16年度	島根県松江市西川津 町1060	平成29年より入学定 員変更
人間科学部									
人間科学科	4	80		320	学 士 (人間科学)	1.02	平成29年度	島根県松江市西川津 町1060	
医学部									
医学科	6	102	3年次 10	652	学 士 (医学)	1.00	平成15年度	島根県出雲市塩冶町 89-1	
看護学科	4	60	3年次 10	260	学 士 (看護学)	1.01	平成15年度	同上	
総合理工学部			3年次 12	24					
物質科学科	4	130		520	学 士 (総合理工学)	1.02	平成15年度	島根県松江市西川津 町1060	
地球資源環境学科	4	50		200	学 士 (総合理工学)	1.00	平成15年度	同上	
数理・情報システム学科	4	100		400	学 士 (総合理工学)	1.05	平成15年度	同上	
機械・電気電子工学科	4	80		320	学 士 (総合理工学)	1.00	平成15年度	同上	
建築・生産設計工学科	4	40		160	学 士 (総合理工学)	1.10	平成15年度	同上	
生物資源科学部			3年次 20	40					
生物科学科	4	30		120	学 士 (生物資源科学)	1.03	平成15年度	島根県松江市西川津 町1060	
生命工学科	4	40		160	学 士 (生物資源科学)	1.02	平成15年度	同上	
農林生産学科	4	85		340	学 士 (生物資源科学)	1.01	平成24年度	同上	
地域環境科学科	4	45		180	学 士 (生物資源科学)	1.05	平成24年度	同上	
人文社会科学研究科									
法経専攻	2	6		12	修 士 (法学)	1.16	平成16年度	島根県松江市西川津 町1060	
言語・社会文化専攻	2	6		12	修 士 (経済学) 修 士 (社会科学) 修 士 (言語文化)	1.16	平成16年度	同上	
教育学研究科									
教育実践開発専攻	2	—		—	修 士 (教育学)	—	平成20年度	島根県松江市西川津 町1060	平成28年より学生募 集停止
教育内容開発専攻	2	—		—	修 士 (教育学)	—	平成20年度	同上	平成28年より学生募 集停止
教育実践開発専攻	2	17		34	教職修士 (専門職)	1.11	平成28年度	同上	
臨床心理専攻	2	8		16	修 士 (教育学)	1.18	平成28年度	同上	
医学系研究科									
医科学専攻	4	30		120	博 士 (医学)	1.06	平成20年度	島根県出雲市塩冶町 89-1	

看護学専攻	3	2	6	博士 (看護学)	1.50	平成28年度	同上	
医科学専攻	2	15	30	修士 (医科学)	0.86	平成16年度	同上	
看護学専攻	2	12	24	修士 (看護学)	1.00	平成15年度	同上	
総合理工学研究科								
総合理工学専攻	3	12	36	博士 (理学)	1.02	平成26年度	島根県松江市西川津 町1060	
総合理工学専攻	2	124	248	博士 (工学) 博士 (学術) 修士 (総合理工学) 修士 (理学) 修士 (工学)	0.97	平成24年度	同上	
生物資源科学研究科								
生物生命科学専攻	2	20	40	修士 (生物資源科学)	1.12	平成20年度	島根県松江市西川津 町1060	
農林生産科学専攻	2	22	44	修士 (生物資源科学)	0.68	平成20年度	同上	
環境資源科学専攻	2	18	36	修士 (生物資源科学)	0.91	平成20年度	同上	
法務研究科								
法曹養成専攻	3	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成16年度	島根県松江市西川津 町1060	平成27年より学生募 集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 人間科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	村瀬 俊樹 (58)	平成29年4月	心の世界 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレ ゼンテーションミー ティングⅠ インタラクティブプレ ゼンテーションミー ティングⅡ インタラクティブプレ ゼンテーションミー ティングⅢ 人間科学概論 人間科学研究法 心理学概論 学習心理学 認知発達心理学 学習心理学研究 発達心理学研究 心理学演習 地域臨床実践実習Ⅰ 応用心理学研究Ⅱ インターンシップ(就 業体験) リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究						
専	教授	石井 徹 (63)	平成29年4月	心の世界 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレ ゼンテーションミー ティングⅠ 人間科学概論 心理統計学Ⅰ 社会心理学 行動変容論						

専	教授	岩宮 (萬木) 恵子 (57)	平成29年4月	<p>人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 臨床心理学概論 思春期・青年期心理学概論 臨床心理事例研究 臨床心理文献講読※ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ (就業体験) リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究</p>																
専	教授	山崎 亮 (58)	平成29年4月	<p>日本人の宗教と死生観 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 地域文化論 生命倫理概論 比較宗教学 専門演習 福祉人間論 福祉人間論研究 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ (就業体験) リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究</p>																

専	教授	杉崎 千洋 (57)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 社会福祉原論Ⅰ※ 高齢者福祉論 保健医療サービス論 福祉社会理論研究 専門演習 社会福祉援助技術論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ 地域連携論 社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	教授	高橋 哲也 (57)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 人間と工学※ 被服生理学 健康衣料素材学 スポーツウェア設計工学 運動障害者衣料学 次世代ヘルスケアビジネス論 社会スポーツ施設実習 社会保健施設実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	教授	磯村 実 (51)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 健康科学概論※ 遺伝医学 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 生理学 病理学 社会スポーツ施設実習 社会保健施設実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	准教授	蘭 悠久 (40)	平成29年4月	心の不思議 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 心理学研究法Ⅰ※ 心理学実験演習Ⅱ 知覚心理学 認知心理学 認知心理学研究 実験心理学研究Ⅰ 心理学演習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	准教授	高橋 悟 (40)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 生涯発達心理学概論 心理検査実習※ 臨床心理事例研究 臨床心理文献講読※ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	准教授	野口 寿一 (37)	平成29年4月	情報科学 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 グループアプローチ概論 心理面接実習Ⅰ 臨床心理事例研究 臨床心理文献講読※ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	准教授	高見（石井） 友理 (43)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 心理療法論 臨床心理事例研究 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 風土心理研究 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究						
専	准教授	石原 宏 (40)	平成30年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 心理学研究法Ⅱ グループアプローチ概論 人間関係論 心理検査実習※ 臨床心理事例研究 臨床心理文献講読※ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究						

専	准教授	加川 充浩 (43)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 専門演習 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	准教授	京 俊輔 (41)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 障害者福祉論 専門演習 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅳ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	准教授	和氣 玲 (42)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 医学概論※ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ※ 福祉社会理論研究 専門演習 精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ※ 精神保健福祉実習指導 精神保健福祉実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	准教授	山崎 雅之 (43)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 健康科学概論※ 地域包括ケア概論 老齢学 地域健康産業論 環境保健学 労働と健康 疫学・統計学※ 疫学・統計学演習※ 社会スポーツ施設実習 社会保健施設実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	准教授	宮崎 亮 (41)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 運動生理学 応用運動生理学 運動生理学実験 運動処方実習※ スポーツ指導実習Ⅰ スポーツ指導実習Ⅱ※ 社会スポーツ施設実習 社会保健施設実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	講師	佐藤 鮎美 (35)	平成29年4月	心の形成 人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 心理学研究法Ⅰ※ 心理学実験演習Ⅰ 家族心理学 家族心理学基礎研究 家族心理学研究 心理学演習 地域臨床実践実習Ⅰ 応用心理学研究Ⅰ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ 海外研修																

専	講師	長谷川 千紘 (33)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 人格心理学概論 発達臨床心理学概論 心理検査実習※ 心理面接実習Ⅱ 臨床心理事例研究 臨床心理文献講読※ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 心理学演習 心理臨床・実践職能論※ 地域臨床実践実習Ⅰ 地域臨床実践実習Ⅱ 地域臨床実践実習Ⅲ 地域臨床実践研究Ⅰ 地域臨床実践研究Ⅱ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																
専	講師	辻本 健彦 (33)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 レクリエーション論 運動処方論 運動処方実習※ スポーツ指導実習Ⅱ※ 社会スポーツ施設実習 社会保健施設実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究																

専	助教	川上 直秋 (33)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 心理統計学Ⅰ 心理統計学Ⅱ 心理学実験演習Ⅰ 社会心理学 行動変容論 社会心理学研究 実験心理学研究Ⅱ 心理学演習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ 海外研修																
専	助教	足立 孝子 (51)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 精神保健学Ⅱ※ 精神保健福祉制度論Ⅰ 精神保健福祉制度論Ⅱ 精神保健福祉論 専門演習 精神保健福祉援助技術演習Ⅰ 精神保健福祉実習指導 精神保健福祉実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ 海外研修																

専	助教	山口 倫子 (39)	平成29年4月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 専門演習 精神科ソーシャルワーク論 精神科リハビリテーション学Ⅱ※ 精神科リハビリテーション学Ⅲ 精神科リハビリテーション学Ⅳ 精神保健福祉援助技術演習Ⅱ スクールソーシャルワーク論 精神保健福祉実習指導 精神保健福祉実習 インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ 海外研修					
専	助教	清水 悠 (29)	平成29年4月	人間科学入門セミナー バイオメカニクス バイオメカニクス演習 バイオメカニクス実験 疫学・統計学※ 疫学・統計学演習※ リサーチ・インターンシップ オーナーード論文 卒業研究					

専任 補充				人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 社会福祉原論Ⅱ 社会福祉運営管理論 福祉社会理論研究 専門演習 社会福祉援助技術論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 社会福祉援助技術演習Ⅳ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究	専	教授	西崎 緑 (59)	平成29年10月	人間科学入門セミナー 人間科学地域実践入門 インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅠ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅡ インタラクティブプレゼンテーションミーティングⅢ 人間科学概論 社会福祉原論Ⅱ 社会福祉運営管理論 福祉社会理論研究 専門演習 社会福祉援助技術論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 社会福祉援助技術演習Ⅳ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 社会福祉実習指導Ⅲ 社会福祉実習Ⅰ 社会福祉実習Ⅱ 社会福祉実習Ⅲ インターンシップ（就業体験） リサーチ・インターンシップ オーナード論文 海外研修 卒業研究	平成28年6月補正申請で専任補充となった科目について、専任補充(29) 平成29年2月AC教員審査済
兼担	教授	田坂 郁夫 (64)	平成29年4月	山陰地域の自然災害 自然環境論						
兼担	教授	江渕 武彦 (63)	平成29年4月	消費生活と家族の法						
兼担	教授	戸崎 哲彦 (63)	平成29年4月	現代中国を読むⅠⅠ						
兼担	教授	出口 顕 (60)	平成29年4月	福祉人類学Ⅰ 福祉人類学Ⅱ						
兼担	教授	吹野 卓 (59)	平成29年4月	基礎社会学Ⅰ						
兼担	教授	大日方 克己 (59)	平成29年4月	山陰の歴史-古代・中世-						
兼担	教授	武田 信明 (58)	平成29年4月	小説の構造						
兼担	教授	大橋 泰夫 (57)	平成29年4月	考古学からみた古代山陰の世界						
兼担	教授	金山 富美 (57)	平成29年4月	酒一杯の酒から覗く 学問の世界	兼担	教授	金山 富美 (57)	平成29年4月	酒一杯の酒から覗く 学問の世界 フランス語Ⅱ	教育内容の充実のため(29)
兼担	教授	野田 哲夫 (57)	平成29年4月	Rubyプログラミング 情報と地域-オープン ソースと地域振興 情報化社会と経済	兼担	教授	野田 哲夫 (57)	平成29年4月	Rubyプログラミング 情報と地域-オープン ソースと地域振興 情報化社会と経済 開発フレームワーク	教育内容の充実のため(29)
兼担	教授	要木 純一 (56)	平成29年4月	中国文学における風土と人間 東アジアのことばと文学						
兼担	教授	渋谷 聡 (54)	平成29年4月	異文化との出会い						
兼担	教授	上園 昌武 (47)	平成29年4月	フィールドで学ぶ「斐 伊川百科」 地域開発と環境						
兼担	教授	丸橋 充拓 (47)	平成29年4月	漢文史料を読む	兼担	教授	丸橋 充拓 (47)	平成29年4月	漢文史料を読む ユーラシアの歴史と 民族	教育内容の充実のため(29)

兼担	准教授	小林 亜希子 (44)	平成29年4月	生成文法入門						
兼担	准教授	福井 栄二郎 (43)	平成29年4月	福祉人類学Ⅰ 福祉人類学Ⅱ 文化人類学						
兼担	准教授	藤本 晴久 (43)	平成29年4月	現代経済へのアプローチ 中山間地域論 地域産業論						
兼担	准教授	安齋 有紀 (42)	平成29年4月	フランスの社会と文化 ヨーロッパの言語文化ⅠⅠ	兼担	准教授	安齋 有紀 (42)	平成29年4月	フランスの社会と文化 ヨーロッパの言語文化ⅠⅠ フランス語Ⅱ	教育内容の充実のため(29)
兼担	准教授	岩本 崇 (42)	平成29年4月	古代出雲の考古学						
兼担	准教授	平郡 達哉 (40)	平成29年4月	考古学からみた韓半島の 先史・古代文化						
兼担	准教授	渡邊 英俊 (40)	平成29年4月	世界経済を見る眼						
兼担	准教授	及川 穰 (39)	平成29年4月	人類史と考古学						
兼担	准教授	関 耕平 (39)	平成29年4月	データで見る経済						
兼担	准教授	嘉村 雄司 (35)	平成29年4月	企業と法						
兼担	准教授	野本 瑠美 (35)	平成29年4月	王朝の文学						
兼担	准教授	日宮田 真樹 人 (46)	平成29年4月	人間と教育						
兼担	准教授	御園 真史 (41)	平成29年4月	学習の科学 教育研究のための統計法						
兼担	准教授	諸岡 了介 (40)	平成29年4月	社会学概論 現代社会論						
兼担	准教授	原 文貴 (40)	平成29年4月	スポーツ実習 健康スポーツ						
兼担	准教授	香川 奈緒美 (39)	平成29年4月	英語海外研修G 英語海外研修H						
兼担	准教授	富安 慎吾 (36)	平成29年4月	アカデミック・ライティング						
兼担	准教授	西村 覚 (54)	平成29年4月	発育発達学 テニス・卓球・バドミントン						
兼担	准教授	濱口 雅史 (49)	平成29年4月	エレクトロニクスセミナー						
兼担	准教授	下舞 豊志 (49)	平成29年4月	計測のはなし						
兼担	准教授	中井 毅尚 (49)	平成29年4月	住まいの科学 木材の科学						
兼担	准教授	武藤 哲也 (47)	平成29年4月	物理のための数学入門						
兼担	准教授	林 広樹 (43)	平成29年4月	ジオパーク学演習						
兼担	准教授	中田 健也 (42)	平成29年4月	反応の化学						
兼担	准教授	廣富 哲也 (40)	平成29年4月	人間と工学※						
兼担	准教授	飯田 拓基 (40)	平成29年4月	高分子の化学						
兼担	准教授	秋吉 英雄 (62)	平成29年4月	動物の世界						
兼担	准教授	長縄 貴彦 (58)	平成29年4月	自然環境の復元						
兼担	准教授	山岸 主門 (49)	平成29年4月	環境問題通論	兼担	教授	松本 一郎 (51)	平成29年4月	環境問題通論	担当教員退職のため(29)
兼担	准教授	舞木 昭彦 (36)	平成29年4月	生態学入門						
兼担	准教授	岩瀬 峰代 (59)	平成29年4月	ワークショップスキル入門 地域社会の生活と安全 島根学 農と食と経済	兼担	准教授	岩瀬 峰代 (59)	平成29年4月	ワークショップスキル入門 地域社会の生活と安全 島根学 農と食と経済 ジャーナリズムと地域社会 島根の企業と経済	担当教員の見直しのため(29) 担当する学科等の教員組織 見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)

兼担	准教授	鹿住 大助 (41)	平成29年4月	コミュニティの学びを支えるもの ジェンダー - 性を科学する - スタートアップセミナー 出雲杜氏の古里再発見 大学で学ぶ世界史	兼担	准教授	鹿住 大助 (41)	平成29年4月	コミュニティの学びを支えるもの ジェンダー - 性を科学する - スタートアップセミナー 出雲杜氏の古里再発見 大学で学ぶ世界史 教育から地域を魅せる	担当する学科等の教員組織見直しのため(29) 担当する学科等の教員組織見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29)
兼担	准教授	河野 美江 (54)	平成29年4月	健康・スポーツ科学概論 医学概論※						
兼担	准教授	岡村 宏章 (56)	平成29年4月	現代中国語セミナーA 国際文化情報(中国語圏) 中国語 I 中国語 II 中国語海外研修A	兼担	准教授	岡村 宏章 (56)	平成29年4月	現代中国語セミナーA 国際文化情報B(中国語圏) 中国語 I 中国語 II 中国語海外研修A	誤記のため訂正(29)
兼担	准教授	Lieske, Carmel la (49)	平成29年4月	グローバルリテラシーセミナーI グローバルリテラシーセミナーII 異文化コミュニケーション入門A 異文化コミュニケーション入門B 国際文化情報A(英語圏) 国際文化情報B(英語圏) 初級英会話A 初級英会話B 中級英会話A 中級英会話B	兼担	准教授	Lieske, Carmel la (49)	平成29年4月	グローバルリテラシーセミナーI グローバルリテラシーセミナーII 異文化コミュニケーション入門A 異文化コミュニケーション入門B 国際文化情報A(英語圏) 国際文化情報B(英語圏) 初級英会話A 初級英会話B 中級英会話A 中級英会話B グローバルアンダースタンディング グローバルインタラクション	担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
兼担	准教授	中園 博美 (49)	平成29年4月	異文化理解入門	兼担	准教授	中園 博美 (49)	平成29年4月	異文化理解入門	担当教員の見直しのため(29)
兼担	准教授	汪 曙東 (46)	平成29年4月	英語 I B						
兼担	准教授	梶山 秀雄 (44)	平成29年4月	英語 II A 英語 II B						
兼担	准教授	竹中 裕貴 (35)	平成29年4月	英語 I A 上級TOEFLセミナーA 上級TOEFLセミナーB 英語アカデミックスキルB	兼担	准教授	竹中 裕貴 (35)	平成29年4月	英語 I A 上級TOEFLセミナーA 上級TOEFLセミナーB 英語アカデミックスキルB 英語 I B	担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29)
兼担	准教授	西郡 至誠 (50)	平成29年4月	熱と分子の物理学						
兼担	准教授	會下 和宏 (47)	平成29年4月	島大ミュージアム学						
兼担	講師	大庭 沙織 (30)	平成29年4月	日常生活と犯罪学						
兼担	講師	黒澤 修一郎 (33)	平成29年4月	日本国憲法	兼担	准教授	永松 正則 (44)	平成29年4月	日本国憲法	担当教員の見直しのため(29)
兼担	講師	高橋 正太郎 (33)	平成29年4月	現代社会と法・人権						
兼担	講師	宮澤 文雄 (35)	平成29年4月	アメリカ短篇小説を読む						
兼担	講師	前田 瞬 (31)	平成29年4月	初級線形代数学I	兼担	講師	前田 瞬 (31)	平成29年4月	初級線形代数学I	担当教員の見直しのため(29)
兼担	講師	保永 展利 (41)	平成29年4月	国際化のなかの地域経済						
兼担	講師	光永 悠彦 (38)	平成29年4月	データ解析のための統計法						
兼担	講師	田中 久美子 (37)	平成29年4月	ビジネスマネジメント 人と職業 大学生の就職とキャリア 実例中小企業経営論 キャリアデザイン 現代社会とキャリア 先輩に学ぶ島根大学の ころと形 中山間地域フィールド演習	兼担	講師	田中 久美子 (37)	平成29年4月	ビジネスマネジメント 人と職業 大学生の就職とキャリア 実例中小企業経営論 キャリアデザイン 現代社会とキャリア 先輩に学ぶ島根大学の ころと形 中山間地域フィールド演習	キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29) キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29) キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29) キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29) キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29) キャリア関連科目の実施体制見直しのため(29)

兼任	講師	Roland, Schulz (45)	平成29年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II 国際文化情報 A (ドイツ語圏) 国際文化情報 B (ドイツ語圏)						
兼任	講師	Masdebrieu, Christophe Claude (50)	平成29年4月	フランス語 I フランス語 II 国際文化情報 A (フランス語圏) 国際文化情報 B (フランス語圏)						
兼任	講師	王 欣 (44)	平成29年4月	中級中国語会話 中国語 I 中国語 II 中国語スキルアップセミナー B 中国語検定セミナー	兼任	講師	王 欣 (44)	平成29年4月	中級中国語会話 中国語 I 中国語 II 中国語スキルアップセミナー B 中国語検定セミナー 現代中国語セミナー B	担当教員の見直しのため (29) 担当教員の見直しのため (29)
兼任	講師	孫 樹林 (59)	平成29年4月	中級中国語表現法 中国語 I 中国語 II 中国語スキルアップセミナー A					中級中国語表現法 中国語 I 中国語 II 中国語スキルアップセミナー A 国際文化情報 A (中国語圏)	誤記のため訂正 (29)
兼任	講師	崔 在佑 (56)	平成29年4月	韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II	兼任	講師	崔 在佑 (56)	平成29年4月	韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II 国際文化情報論 A (韓国・朝鮮語圏) 国際文化情報論 B (韓国・朝鮮語圏)	担当教員の見直しのため (29) 担当教員の見直しのため (29)
兼任	講師	朴 瑞庚 (44)	平成29年4月	韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II						
兼任	講師	玉木 祐子 (43)	平成29年4月	英語 I A 英語 I B						
兼任	講師	林 河運 (41)	平成29年4月	韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II 国際文化情報論 A (韓国・朝鮮語圏) 国際文化情報論 B (韓国・朝鮮語圏)	兼任	講師	林 河運 (41)	平成29年4月	韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II 国際文化情報論 A (韓国・朝鮮語圏) 国際文化情報論 B (韓国・朝鮮語圏)	担当教員の見直しのため (29) 担当教員の見直しのため (29)
兼任	講師	浅香 加奈子 (36)	平成29年4月	英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 IV 英語アカデミックスキル A	兼任	講師	浅香 加奈子 (36)	平成29年4月	英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 IV 英語アカデミックスキル A	担当教員の見直しのため (29)
兼任	講師	深町 悟 (36)	平成29年4月	英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B						
兼任	講師	丁 雷 (33)	平成29年4月	現代中国語セミナー B 中国語 I 中国語 II 中国語音声セミナー 中国留学セミナー	兼任	講師	丁 雷 (33)	平成29年4月	現代中国語セミナー B 中国語 I 中国語 II 中国語音声セミナー 中国留学セミナー 中国語スキルアップセミナー A 中国語スキルアップセミナー B 中国語海外研修 C	担当教員の見直しのため (29) 担当教員の見直しのため (29) 担当教員の見直しのため (29) 教育内容の充実のため (29)
兼任	講師	伊野家 伸一 (59)	平成29年4月	英語 I A 英語 II A 英語 III A 英語 III B						
兼任	講師	小葉田 尚子 (57)	平成29年4月	英語 II B						
兼任	講師	マユー あき (56)	平成29年4月	英語 I A 英語 II A					英語 I A 英語 II A	担当教員退職のため (29)

兼任	講師	山根 アドリ アナ (56)	平成29年4月	グローバルビジネスコ ミュニケーションA グローバルビジネスコ ミュニケーションB 海外留学セミナーA 海外留学セミナーB 英語アカデミックスキルD	兼任	講師	山根 アドリ アナ (56)	平成29年4月	グローバルビジネスコ ミュニケーションA グローバルビジネスコ ミュニケーションB 海外留学セミナーA 海外留学セミナーB 英語アカデミックスキルD	担当教員の見直しのため(29)
兼任	講師	上野 敬子 (55)	平成29年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	講師	ハーヴェー 佳奈 (42)	平成29年4月	英語IV	兼任	講師	ハーヴェー 佳奈 (42)	平成29年4月	英語IV 英語 II A	担当教員の見直しのため(29)
兼任	講師	川上 サマン サ (41)	平成29年4月	英語 II A 英語 II B 英語アカデミックスキルC 英語アカデミックスキルF						
兼任	講師	田中 義浩 (74)	平成29年4月	芸術文化 I (音楽)						
兼任	講師	林 みちこ (43)	平成29年4月	芸術文化 I (美術)	兼任		後任未定	平成29年10月	芸術文化 I (美術)	担当教員退職のため(29)
兼任	講師	藤原 宏夫 (41)	平成29年4月	芸術文化 I (島根の祭 りと芸能)						
兼任	助教	伊藤 史人 (41)	平成29年4月	人間と工学※						
兼任	講師	宮田 知子 (36)	平成29年4月	不登校の心理臨床※ 子育て支援の心理臨床※ 芸術療法論 心理臨床・実践職能論※ 臨床心理事例研究 地域臨床実践実習 I 地域臨床実践実習 II 地域臨床実践実習 III 地域臨床実践研究 I 地域臨床実践研究 II						
兼任	講師	三嶋 朋子 (46)	平成29年4月	不登校の心理臨床※ 子育て支援の心理臨床※ 芸術療法論 心理臨床・実践職能論※ 臨床心理事例研究 地域臨床実践実習 I 地域臨床実践実習 II 地域臨床実践実習 III 地域臨床実践研究 I 地域臨床実践研究 II						
兼任	講師	田中 美樹 (47)	平成29年4月	不登校の心理臨床※ 子育て支援の心理臨床※ 心理臨床・実践職能論※ 臨床心理事例研究 地域臨床実践実習 I 地域臨床実践実習 II 地域臨床実践実習 III 地域臨床実践研究 I 地域臨床実践研究 II						
兼任	講師	石井 徹 (66)	平成31年4月	コミュニティ心理学						
兼任	講師	黒田 文 (51)	平成29年4月	社会福祉原論 I ※ 福祉行財政・福祉計画論						
兼任	講師	高多 宏樹 (53)	平成29年4月	児童生徒人間関係論						
兼任	講師	河田 充 (56)	平成29年4月	児童生徒人間関係論						
兼任	講師	尾崎 朱美 (51)	平成29年4月	児童生徒人間関係論						
兼任	准教授	麻生 祐司 (39)	平成29年4月	栄養学						
兼任	講師	池本 雄基 (25)	平成29年4月	スポーツ心理学						
兼任	講師	新藤 優子 (57)	平成29年4月	介護概論						
兼任	講師	伊藤 泰三 (41)	平成29年4月	公的扶助論						
兼任	講師	斎藤 立滋 (44)	平成29年4月	社会保障論 II						
兼任	講師	大川 哲次 (68)	平成29年4月	就労支援と更生保護※						
兼任	講師	鳥居 竜一 (37)	平成29年4月	権利擁護と成年後見						

兼任	講師	原田 清司 (42)	平成29年4月	社会福祉援助技術演習Ⅱ						
兼任	講師	諏訪 方宣 (52)	平成29年4月	社会福祉援助技術演習Ⅴ※						
兼任	講師	角 知子 (49)	平成29年4月	社会福祉援助技術演習Ⅴ※						
兼任	講師	池田 圭介 (44)	平成29年4月	社会福祉援助技術演習Ⅴ※						
専任 補充				児童福祉論 社会調査 東アジア福祉社会論 救急処置法						
兼任可				就労支援と更生保護※ 病態治療学						
					兼任	講師	野間 純平 (30)	平成29年4月	山陰のことば	教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	原田 健太郎 (37)	平成29年4月	大学教育論 -島根大学と社会-	教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	中田 行彦 (34)	平成29年4月	日常生活の中の数学 初級線形代数学Ⅰ	担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	丸田 隆典 (36)	平成29年4月	生命情報の科学	担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	岡本 マイケル (34)	平成29年4月	英語アカデミックスキルA 英語アカデミックスキルB 英語アカデミックスキルD 海外留学セミナーA 上級TOEFLセミナーA 上級TOEFLセミナーB 初級英会話B クロスカルチュラルアン ダースタンディング	担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	Salsgiver, Jennifer (33)	平成29年4月	英語アカデミックスキルE グローバルビジネスコ ミュニケーションA 初級英会話A アカデミックリスニングA アカデミックリスニングB 英語ⅡA	担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(30) 担当教員の見直しのため(29)
					兼任	准教授	佐藤 智照 (32)	平成29年4月	異文化理解入門	担当教員の見直しのため(29)
					兼任	准教授	丸山 実子 (40)	平成29年4月	人と職業 地域共創インターン シップA 地域共創インターンシップB キャリアデザイン ビジネススキル入門	担当教員の見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29) 担当教員の見直しのため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	中野 洋平 (37)	平成29年4月	島根学	担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	高須 佳奈 (37)	平成29年4月	地域課題解決プロジェクト	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	橋爪 一治 (54)	平成29年4月	ものづくりと創造性	教育内容の充実のため(29)
					兼任	助教	高田 晋史 (34)	平成29年4月	国際農村開発概論	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	小林 准士 (47)	平成29年4月	山陰の歴史-近世・近 現代- 歴史のなかの日本と アジア	教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	菊池 慶之 (40)	平成29年4月	世界の都市景観 都市地理学	教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	岩本 真裕子 (33)	平成29年4月	初級微積分学Ⅰ 実用微積分学ⅠB 実用線形代数学ⅡB	教育内容の充実のため(29) 担当教員の見直しのため(29) 担当教員の見直しのため(29)
					兼任	教授	中西 敏浩 (58)	平成29年4月	実用微積分学ⅡB	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	山田 拓身 (42)	平成29年4月	実用線形代数学ⅠB	担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	清家 泰 (65)	平成29年4月	環境の化学	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	青木 美穂 (43)	平成29年4月	数の世界	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	小川 貴央 (38)	平成29年4月	生体分子の世界	教育内容の充実のため(29)

					兼任	准教授	竹永 啓三 (64)	平成29年4月	細胞生物学	教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	石谷 正宇 (62)	平成29年4月	生物多様性と環境保 全	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	芦田 文博 (60)	平成29年4月	機械の歴史	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	西田 兼 (57)	平成29年4月	芸術学セミナー	教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	澤田 忠幸 (54)	平成29年4月	生涯発達の心理学	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	朝田 良作 (62)	平成29年4月	市民生活と法 医療から見た法の世界	教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	洪 濟植 (55)	平成29年4月	株式会社の経営と法	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	桑野 雄一郎 (50)	平成29年4月	知的財産から見た法 の世界	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	瀬戸 浩二 (52)	平成29年4月	山陰の自然史 汽水域の科学(入門 編)	教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	助教	秋廣 高志 (42)	平成29年4月	生命現象	教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	山下 晃功 (71)	平成29年4月	くらしの中の製作技 術	教育内容の充実のため(29)
					兼任	教授	入月 俊明 (53)	平成29年4月	ジオパーク学入門 ジオパーク学各論	教育内容の充実のため(29) 教育内容の充実のため(29)
					兼任	講師	壺倉 恵子 (49)	平成29年4月	英語ⅡA	教育内容の充実のため(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	10	3	4	24	7	9	3	4	23	7	10	3	4	24
(7)	(9)	(3)	(4)	(23)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		(該当なし)					
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		(該当なし)					
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (29年4月)	「健康科学コース」の名称を「身体健康科学コース」に改めるとしているが、カリキュラムの内容は、「身体」あるいは「健康」そのものに焦点を当てたものではなく、「身体活動」を通じて健康を科学するものである。また、この考えは、本補正申請の設置の趣旨を記載した書類p24にも記載されている。このことから、コース名称については、例えば「身体活動・健康科学コース」とするなど、カリキュラムの内容を踏まえた名称とすること。	留意事項	コース名称を「身体活動・健康科学コース」と改めた。(29)	
設 置 時 (29年4月)	教員の補充を必要とされた31授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた30授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	教員の補充を必要とされた授業科目のうち25授業科目については、平成29年2月実施のAC教員審査において補充を行った。(29)	専任教員の配置を必要とされた科目について科目開設時までに充足するため、平成29年10月に専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）を提出予定で、現在公募中である。(29)
設 置 時 (29年4月)	設置の趣旨において「地域実践力」を掲げていることを踏まえ、今後も、実習施設の充実に努めることが望ましい。	その他意見	社会福祉実習にかかる実習施設について新たに9施設を追加することとした。(29)	
設 置 時 (29年4月)	「地域連携論」について、社会福祉に関する具体的な事象を取り入れるなど、科目内容を充実することが望ましい。	その他意見		科目開設時（H31年度）までに社会福祉に関する具体的な事象を取り入れるなどの検討を行い、科目内容の充実を図る予定である。(29)

<p>設置時 (29年4月)</p>	<p>「福祉社会文化論」から「福祉人間論」に科目名称を変更し、「福祉制度や実践のあり方を相対化して捉えなおす広義の人間学的視点」とするのであれば、それにふさわしい内容とすべきで、日本における近代以降の地域社会について論ずるだけではなく、倫理をはじめヨーロッパのヒューマニズム等、広義の人間学的視点を取り入れた科目とすることが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>		<p>科目開設時（H30年度）までに科目内容について広義の人間学的視点を取り入れるなどの検討を行い、内容の充実を図る予定である。 (29)</p>
-----------------------------	---	--------------	--	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間科学部 人間科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1. カリキュラムポリシー ②地域において人々が抱える問題に対して、その解決法を構想し、実践的にかかわれる力を育成するため、初年次から卒業年次まで、学部共通の地域実践基盤科目、及び各コースの特性に応じた地域実践展開科目を設ける。(ディプロマポリシー①④⑥に強く関連する) ③様々な人々と共同で問題解決にあたる力を育成するため、コースを越えて学部全体で知見を交換し合う「インタラクティブ・プレゼンテーション・ミーティングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を必修とし、専門を異にする人々ともコミュニケーションがとれるようにする。(ディプロマポリシー①③⑥に強く関連する)</p> <p>2. アドミッションポリシー 別添資料①-1参照</p> <p>3. 管理運営 学部長による学部運営を円滑に進めるために、学部長の業務を補佐する学部長指名の副学部長を置き、学部長・副学部長と各コース代表からなる学部運営会議を設ける。 さらに、学部における日常的な業務を円滑に遂行するために、学生指導・教務・就職等を管轄する学務委員会、入試広報委員会、学術交流委員会等の常置委員会を設ける。</p>	<p>1. ディプロマポリシーで「地域実践力」の修得をうたっていることから、そのことをカリキュラムポリシーにおいても明示するため、修正・追記した(下線部参照)。 ②地域において人々が抱える問題に対して、その解決法を構想する地域実践力を育成するため、初年次から卒業年次まで、学部共通の地域実践基盤科目、及び各コースの特性に応じた地域実践展開科目を設ける。(ディプロマポリシー①④⑥に強く関連する) ③様々な人々と共同で問題解決にあたる実践力を育成するため、コースを越えて学部全体で知見を交換し合う「インタラクティブ・プレゼンテーション・ミーティングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を必修とし、専門を異にする人々ともコミュニケーションがとれるようにする。(ディプロマポリシー①③⑥に強く関連する)</p> <p>2. アドミッションポリシーについて、内容に変更はないが、学力の3要素等との繋がりなどについて受験生にとって分かりやすい表現とするとともに、全学的なアドミッションポリシーの見直しの方針にも連動し、別添資料①-2のとおり整理し直した。</p> <p>3. 管理運営 学部の常置委員会について、所掌する業務との関係等を勘案し、日常的な業務の円滑な遂行を進めるため、教務委員会、学生・就職委員会、入試広報委員会、研究推進・国際交流委員会を設けることとした。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成29年度：学部の教務、実習、カリキュラムの改善等を審議するため、委員4名による教務委員会を設置した。</p> <p>平成28年度：学部の教務関係事項について検討を行うため、人間科学部設置室に、4名の教員で構成する教務WGを設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成29年度：毎月1回程度開催予定(第1回委員会H29.4.17開催、委員4名全員出席)</p> <p>平成28年度：8回(9月20日、10月3日、10月24日、11月14日、11月28日、12月12日、1月16日、2月6日、いずれもメンバー4名全員出席)</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>平成28年度は人間科学部設置室に教務WGを置き、学部のカリキュラムについての検討を行うとともに、1年次開講科目(人間科学入門セミナー、人間科学地域実践入門、人間科学概論など)の授業実施方法等について検討を行った。</p>
--

- b 実施方法
上記のとおり
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
上記①－bに記載のとおり
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
今後の授業実施や授業評価結果等をもとに必要に応じて改善等を行う予定。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
教育推進センターが主体となり、各学期の授業終了時頃に全学的にWebによるアンケートを実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
Webにより公開予定。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ・平成29年度は定員80名に対し、82名の第1期生を受け入れ、予定通り授業科目を開講している。
 - また、県内関連団体の発意により人間科学部後援会が立ち上がるなど、地域社会からの期待も大きいと考えられる。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
 - ・法人評価としての第3期（平成28～33年度）における各年度の実績報告書及び実績に対する国立大学法人評価委員会からの評価結果について、前者は翌年度の6月頃、後者は翌年度に評価結果が分かり次第、公表予定。
 - ・教員の活動（教育・研究・社会貢献）状況については随時情報が更新され「教員情報検索システム」上に常に公表されている。
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成34年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定であるが、詳細の時期は未定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年 5月12日)